

# キラリ★ひと言



## 地域で守る 農地、水、環境

た なかりゆうぞう  
三重町 田中龍三  
川 辺

いま、集落では、農地や農業用水などの資源を守るという機能（まとまり）が弱まっています。その要因としては、農業者の高齢化や減少、混住化などにより、今まで集落全体で行っていた活動ができにくくなっているからだと思います。

そんな中、私の集落では、国・県・市の支援事業「農地、水、環境保全向上対策」を利用し、農業者や自治会を中心に、子ども会、消防団、老人会などと連携をとって、農村環境の向上、水路やため池などの施設の長寿命化に向けた活動に取り組んでいます。

子ども会や老人会には、花の植栽、カン拾いなどで集落内の美化、自治会、消防団には、農道やため池の草刈り、用排水路の補修を担当してもらうなど、集落全体で景観形成と施設の保全を図っています。

近頃、「地球温暖化対策」など環境への関心が高まっています。

農地、農業用水などの資源や環境は、住民共有の財産であり、これら農村景観を後世に良好な状態で、引き継いでいくことを地域（集落）全体で取り組むことが必要だと思います。



## 透明で魅力ある 舞台づくり

豊後大野市素人劇団  
「清劇うたひめ」会長

清川町 きのした ふじお  
砂 田 木下不二夫

舞台という軌道の上に乗る、魅力ある骨格づくりをする仕事、それがプランナーである。

観客に芸術的感動を与える台本が出来たと思っても、血が通っていない、魂の流動がない、心を暖められないなどの不安や葛藤が次から次に沸きあがり喜べない。

それでも役の心、作者の心を透明に表し、多くの観客に喜んでいただく舞台づくりを心がける。

これがプランナーである。行政にも同じ事が言えるだろう。

今、豊後大野市は、病院統合で議論の最中である。

統合したとしても、地域医療は充実させるといっても、弱者と呼ばれる高齢者が、安心してかけられる魅力ある病院づくりが必要であり、そのことが一番の心配である。

コミュニティーケアも然ることながら、今後の課題として、行政は市民感覚を忘れてはならない。今後の動きに市民として注目し、期待もしたい。

時の流れに即応した地域医療の充実と、病院を利用する人々のことも念頭に置き、身のある舞台づくり、そして難破しない舵取りを。

## 傍聴にどうぞ！

◇ 9月定例会は9月4日(木)に開会予定です。

詳しくは議会事務局 (TEL 22-1001) へ  
お問い合わせください。

### ■ 広報編集特別委員会

委員長 赤嶺 謙二  
副委員長 渡邊 一文  
委員 宇薄 克哲  
委員 小野 正宏  
委員 衛藤 順一  
委員 衛藤 竜哉